

2025年3月期（4-3月） 決算説明資料

酒井重工業株式会社

証券コード 6358

URL <https://www.sakainet.co.jp>

2025年5月14日

決算短信（サマリー情報）

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績

（百万円未満切捨て）
（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭	％	％	％
2025年3月期	27,854	△15.6	1,583	△52.3	1,494	△55.0	1,435	△41.2	168.50	4.9	3.4	5.7
2024年3月期	33,020	5.0	3,318	32.4	3,324	42.8	2,440	44.0	287.37	9.0	7.8	10.1

（注）包括利益 2025年3月期 2,072百万円（△55.8％） 2024年3月期 4,685百万円（64.9％）

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期	42,624	30,130	70.5	3,522.58
2024年3月期	44,237	29,165	65.8	3,422.24

（3）連結キャッシュ・フローの状況

営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
百万円	百万円	百万円	百万円
362	75	△1,220	7,599
2,482	△353	△1,422	8,244

（参考）自己資本 2025年3月期 30,050百万円 2024年3月期 29,093百万円

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当 率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年3月期	—	90.00	—	195.00	285.00	1,211	49.6	4.5
2025年3月期	—	85.00	—	60.50	—	878	61.1	3.0
2026年3月期（予想）	—	45.00	—	60.00	105.00		99.4	

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の1株当たり期末配当金には株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しておりますが、株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の1株当たり期末配当金は、121円00銭で1株当たり年間配当金は206円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	13,700	△4.8	550	△55.3	550	△53.3	400	△69.3	46.94
通期	30,000	7.7	1,250	△21.1	1,250	△16.4	900	△37.3	105.61

連結業績ハイライト

1. 業績の概要

- 1) **連結売上高：** 27,854百万円（前年比 15.6%減）
建設機械市場全体の在庫調整局面の中で国内外ともに販売が減少
- 2) **営業利益：** 1,583百万円（前年比 52.3%減）
売上減少と、これに伴う生産調整に伴い減益
- 3) **当期純利益：** 1,435百万円（前年比 41.2%減）
政策保有株式残高の調整に伴う投資有価証券売却益3億6千万円により嵩上げ
- 4) **国内販売：** 12,000百万円（前年比 16.2%減）
国土強靱化加速化対策を背景とした堅調な政府建設投資が続きましたものの、度重なる価格改定前の駆け込み需要と物流と建設の残業上限規制に対して、だぶついた建設機械の在庫調整が継続
- 5) **北米販売：** 7,574百万円（前年比 21.9%減）
インフラ投資法を背景とした道路建設投資が続きましたものの、金利の高止まりが続く中でディーラ段階の在庫調整が加速
- 6) **アジア販売：** 7,021百万円（前年比 7.2%減）
選挙イヤーでA S E A N市場全般の需要が停滞していましたが、タイとマレーシアで底入れの兆し

連結業績ハイライト

2. 事業環境変化への対応

1) 資本収益性向上に向けた取組み

(1) 中期経営方針の進捗

5ヵ年中期計画 : 売上高 300億円、営業利益 31億円、ROE 8.0%
 当通期業績実績（第4年度）: 売上高 278億円、営業利益 15.8億円、ROE 4.9%

(2) 企業価値向上の進捗（PBR1倍超え）

2024年 3月末: PBR 0.98倍（株価 3,340円）←株式分割を考慮
 2025年 3月末: PBR 0.61倍（株価 2,142円）←株式分割を考慮

2) 価格改定と高付加価値化と効率化による収益構造改革

原価率: 72.4%（前年比 0.8%悪化）・・・生産調整に伴う原価差損

3) 人的資本投資の強化

- (1) 賃金改善と雇用安定化: 賃上げ（23年度5.1%、24年度6.0%、25年度6.0%）
- (2) 現場技能者増強と職場環境整備: 工場・サービス現場増強と健全な職場環境づくり。

4) 需要変化対応

棚卸資産回転数: 2.4回転（前年比 0.68回転減（22%減））・・・106 → 115億円
 世界経済が減速する中で建設機械市場も調整期を迎え、適正在庫水準へ調整強化中

連結業績ハイライト

3. 中長期成長戦略

- 1) **アジア市場深耕** : インドネシア拠点を中核としたASEAN市場拡大（鉱山・舗装市場への営業展開）
- 2) **海外事業領域拡大** : 道路維持機械の海外市場展開（ODA案件増加、現地生産開始、インドネシアにおける道路再生工法の基準化完了）
- 3) **北米市場開拓** : ニッチマーケティングによるシェア拡大（差別化商品による技術営業強化）
- 4) **次世代事業開発** : 緊急ブレーキ、転圧管理システム、切削管理システムの市場展開。
自律走行式ローラ、EVローラの事業化開始。（土木ゼネコン向け営業展開）

4. 事業環境見通し

1) 世界の建設機械市場

短期的にはコロナ後の需要拡大期からの調整局面がしばらく続くものの、中期的には日米の大型インフラ投資計画や新興諸国におけるインフラ投資と鉱山開発の活発化、更には老朽化インフラの更新需要や災害対策など、建設機械の底堅い潜在需要が期待されますので、景気循環を経て底入れするものと予想しております。

2) リスクと対応

第二次トランプ政権の誕生と世界の政治的パワーバランスの変化に伴い、これまでの自由貿易や安全保障体制の枠組みが大きく変化しつつあり、世界情勢の先行きは予断を許しません。

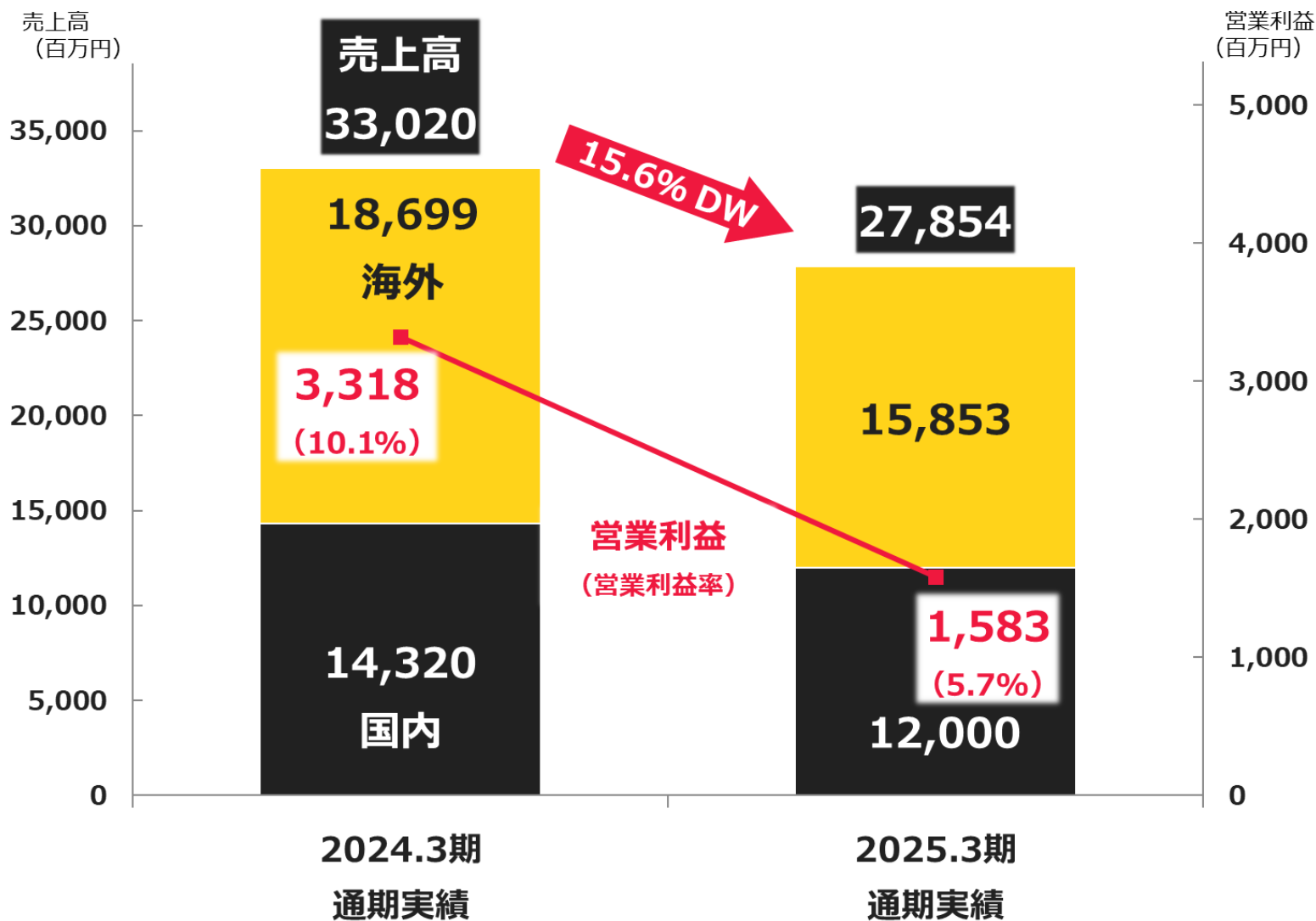
この様な情勢の下で当企業グループでは、米国向け関税対策とサプライチェーンの修正を急ぐとともに、収益構造と人的組織能力の強化、市場環境変化に伴う競争戦略の再強化、ものづくり品質の底上げなど、この需要調整期間に経営の基礎基盤を固め直すことにより、市場回復期に向けた企業体質づくりを進めて参ります。

連結業績

(単位：百万円)

	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	33,020	27,854	▲ 5,166	▲ 15.6%
国内	14,320	12,000	▲ 2,320	▲ 16.2%
海外	18,699	15,853	▲ 2,846	▲ 15.2%
営業利益 (営業利益率)	3,318 (10.1%)	1,583 (5.7%)	▲ 1,735	▲ 52.3%
経常利益	3,324	1,494	▲ 1,829	▲ 55.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,440	1,435	▲ 1,004	▲ 41.2%
(原価率)	(71.6%)	(72.4%)		

連結業績 (グラフ)



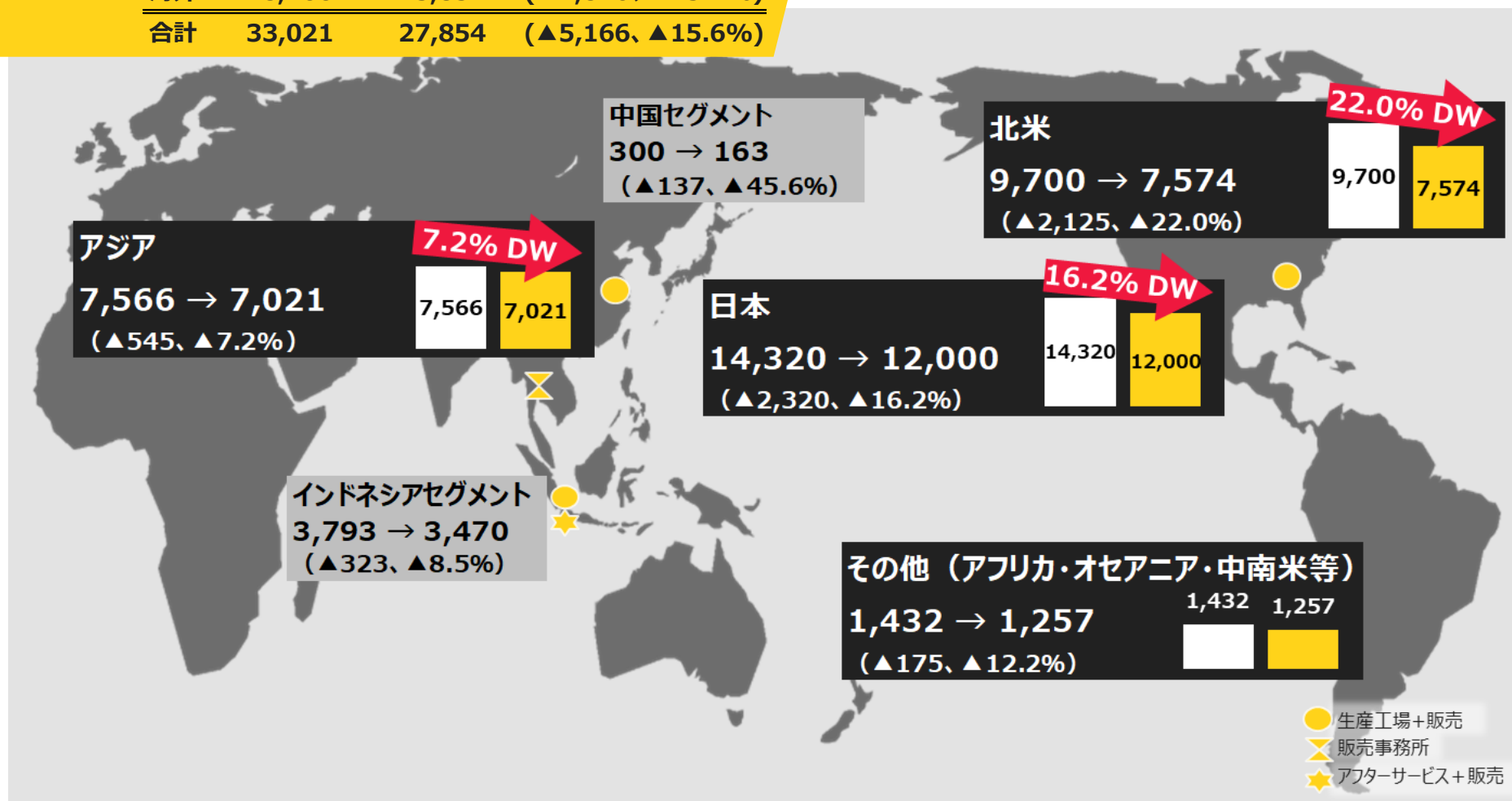
地域区分別売上高（顧客の所在地別に分類）

（単位：百万円）

	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
国 内	14,320	12,000	▲ 2,320	▲16.2%
海 外	18,699	15,853	▲ 2,846	▲15.2%
北米	9,700	7,574	▲ 2,125	▲21.9%
アジア	7,566	7,021	▲ 545	▲7.2%
その他	1,432	1,257	▲ 175	▲12.2%
合 計	33,020	27,854	▲ 5,166	▲15.6%

地域区分別売上高（地図）

(単位：百万円)	24.3期 通期	25.3期 通期	前年比
国内	14,321	12,000	(▲2,320、▲16.2%)
海外	18,700	15,854	(▲2,846、▲15.2%)
合計	33,021	27,854	(▲5,166、▲15.6%)



所在地別セグメント（当社の生産・販売拠点別に分類）

（単位：百万円）

日 本	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	19,225	16,645	▲ 2,580	▲13.4%
内部売上高	4,185	3,202	▲ 982	▲23.5%
総売上高	23,411	19,847	▲ 3,563	▲15.2%
営業利益	983	165	▲ 817	▲83.1%

（単位：百万円）

北 米	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	9,700	7,574	▲ 2,125	▲21.9%
内部売上高	20	13	▲ 7	▲35.5%
総売上高	9,721	7,588	▲ 2,133	▲21.9%
営業利益	1,162	826	▲ 335	▲28.9%

（単位：百万円）

インドネシア	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	3,793	3,470	▲ 323	▲8.5%
内部売上高	3,091	2,674	▲ 416	▲13.5%
総売上高	6,885	6,145	▲ 739	▲10.7%
営業利益	1,004	556	▲ 447	▲44.6%

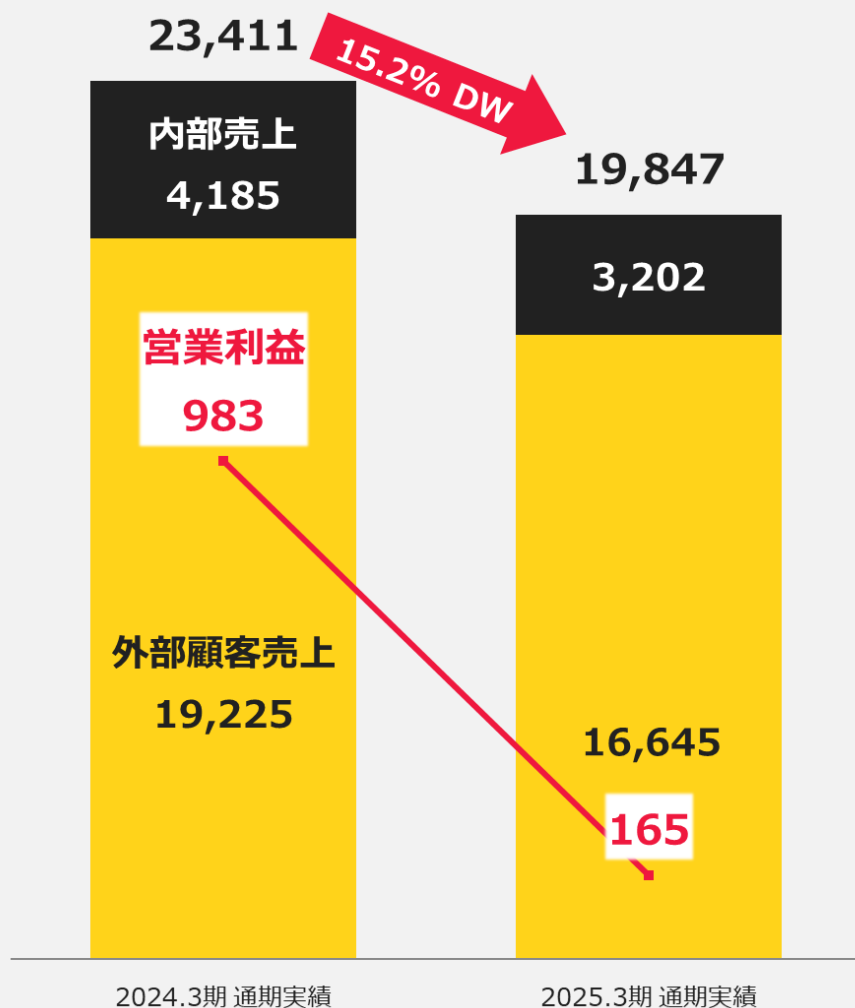
（単位：百万円）

中 国	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	300	163	▲ 137	▲45.6%
内部売上高	1,678	1,273	▲ 404	▲24.1%
総売上高	1,979	1,437	▲ 541	▲27.4%
営業利益	209	72	▲ 136	▲65.1%

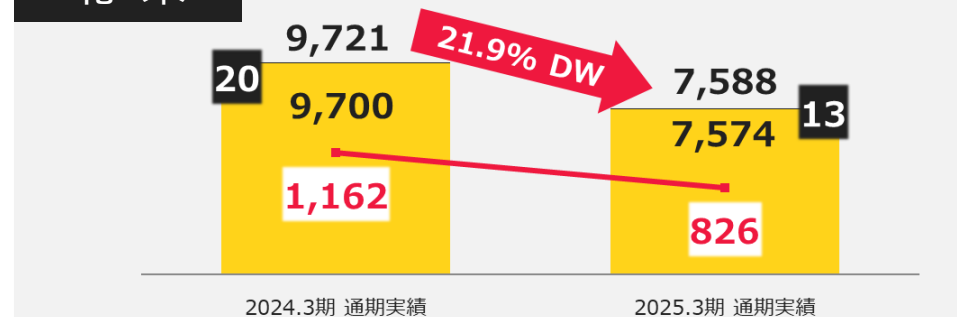
所在地別セグメント（グラフ）

（単位：百万円）

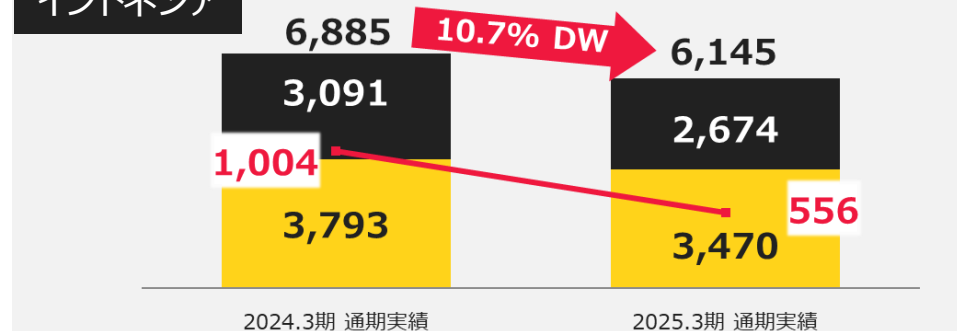
日本



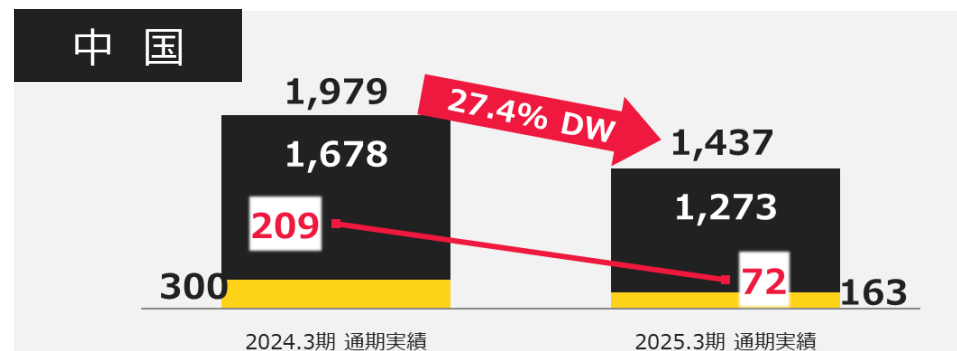
北米



インドネシア



中国



営業利益 増減要因

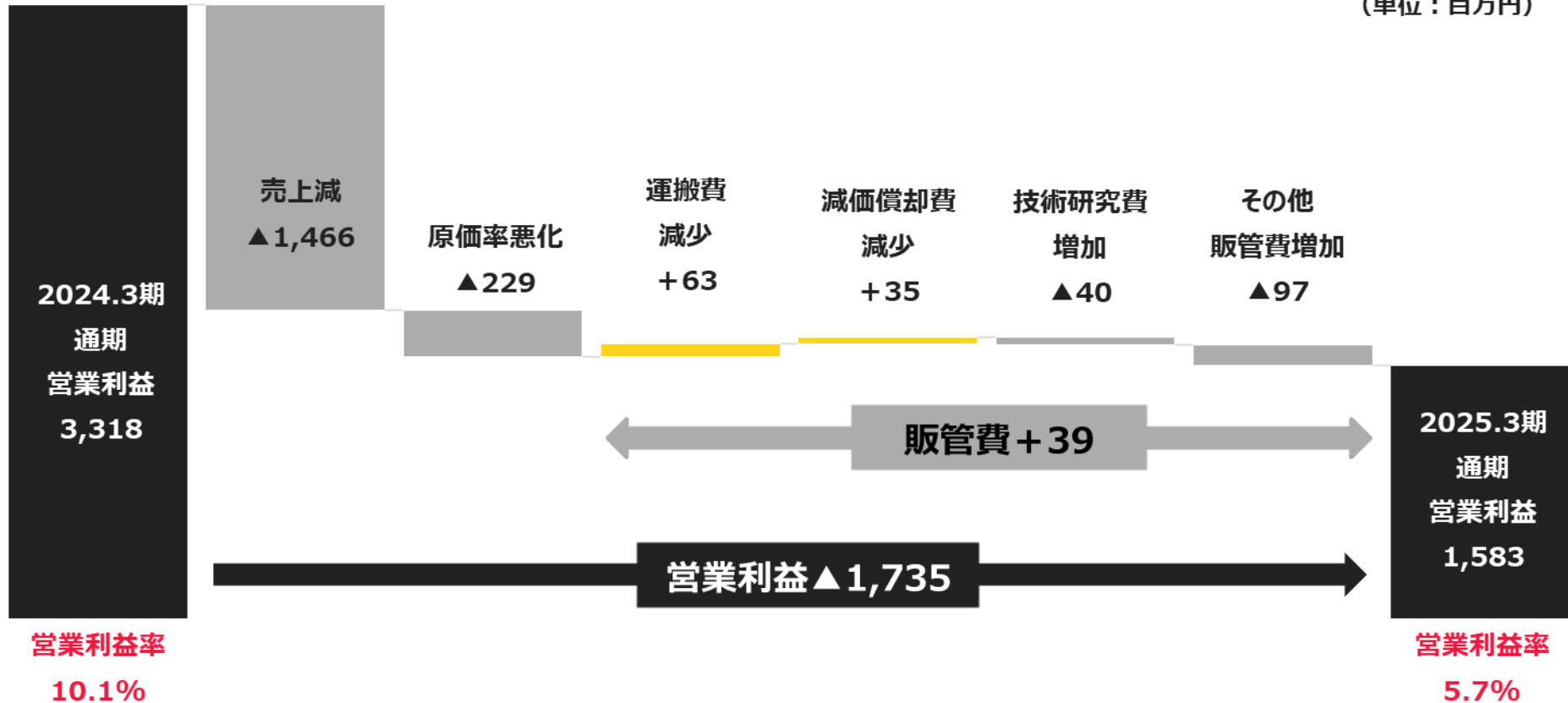
- 売上高が前年比5,166百万円減少した結果、売上総利益は1,466百万円の減益
- 原価率は0.8%悪化し、売上総利益は229百万円の減益
- 販管費は、ほぼ前年同様に推移し39百万円の増加
- 結果として営業利益は、前年比1,735百万円減の1,583百万円

(単位：百万円)

	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	増減	営業利益への 影響額	備 考
売上高	33,020	27,854	▲ 5,166	▲ 1,466	▲5,166 x (1 - 71.6%)
(原価率)	71.6%	72.4%	0.8%	▲ 229	27,854 x 0.8%
売上総利益	9,369	7,674	▲ 1,695		
販管費	6,050	6,090	39	▲ 39	運搬費▲63、減価償却費▲35、 技術研究費+40、その他販管費+97
営業利益	3,318	1,583		▲ 1,735	

営業利益 増減要因 (グラフ)

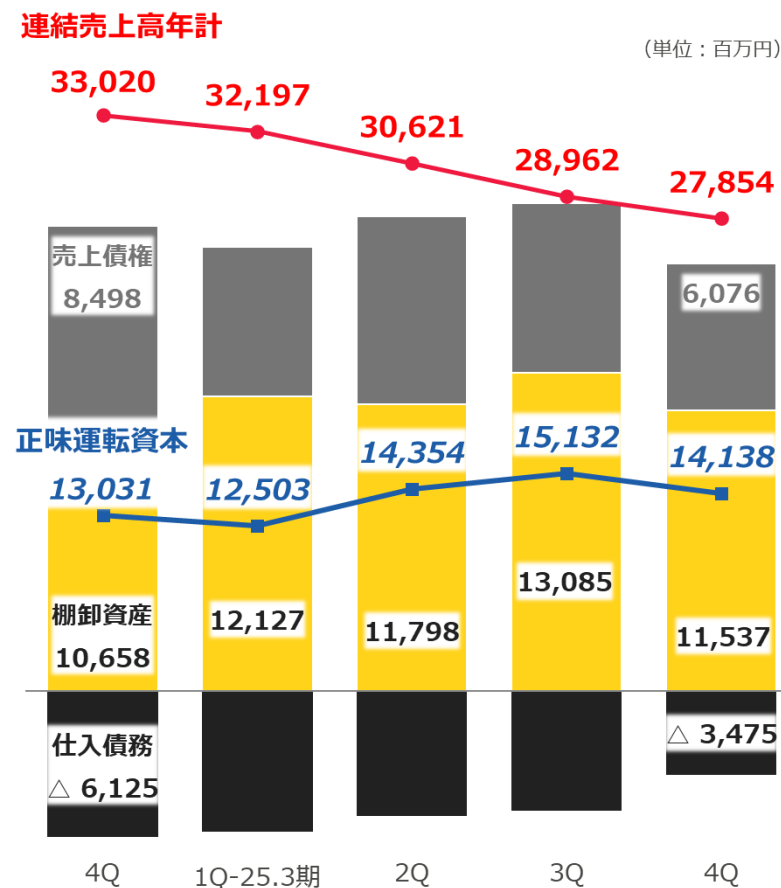
(単位：百万円)



正味運転資本推移（売上債権＋棚卸資産－仕入債務）

- 営業上の投下運転資金は、前年比で売上債権2,422百万円減、棚卸資産879百万円増、仕入債務2,650百万円減少の結果、1,107百万円増/8.5%増の14,138百万円。
- 棚卸資産は、前年比0.68回減（22%減）の2.4回に低下、直近の第3四半期比では1,548百万円圧縮し在庫調整強化中。
- 仕入債務の大幅減少要因は、生産調整と下請法の60日ルール適用。

	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	前年比	
			増減額	増減率
連結売上高（年計）	33,020	27,854	▲5,166	▲15.6%
売上債権	8,498	6,076	▲2,422	▲28.5%
棚卸資産	10,658	11,537	879	8.2%
仕入債務	▲6,125	▲3,475	2,650	▲43.3%
正味運転資本	13,031	14,138	1,107	8.5%
棚卸資産回転数	3.10回	2.41回	▲0.68回	
正味運転資本/売上高比率	39.5%	50.8%	11.3%	



連結業績の予想

- 今後世界の建設機械市場は、激変する世界情勢の下で調整局面が続くものの、中期的には底堅い潜在需要が期待されますので、景気循環を経て底入れするものと予想しています。
- 次期業績予想につきましては下半期に向けて販売が底入れするとともに、米国関税については価格転嫁とサプライチェーンの修正により関税コスト負担の軽減を進めて参ります。

(業績予想値の前提となる為替レートは、米ドル140円で換算)

(単位：百万円)

	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	2026.3期 通期予想	前年比	
				増減額	増減率
売上高	33,020	27,854	30,000	2,145	7.7%
営業利益	3,318	1,583	1,250	▲ 333	▲21.1%
経常利益	3,324	1,494	1,250	▲ 244	▲16.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,440	1,435	900	▲ 535	▲37.3%
1株当たり純利益	287.37円	168.50円	105.61円	▲62.89円	37.3%

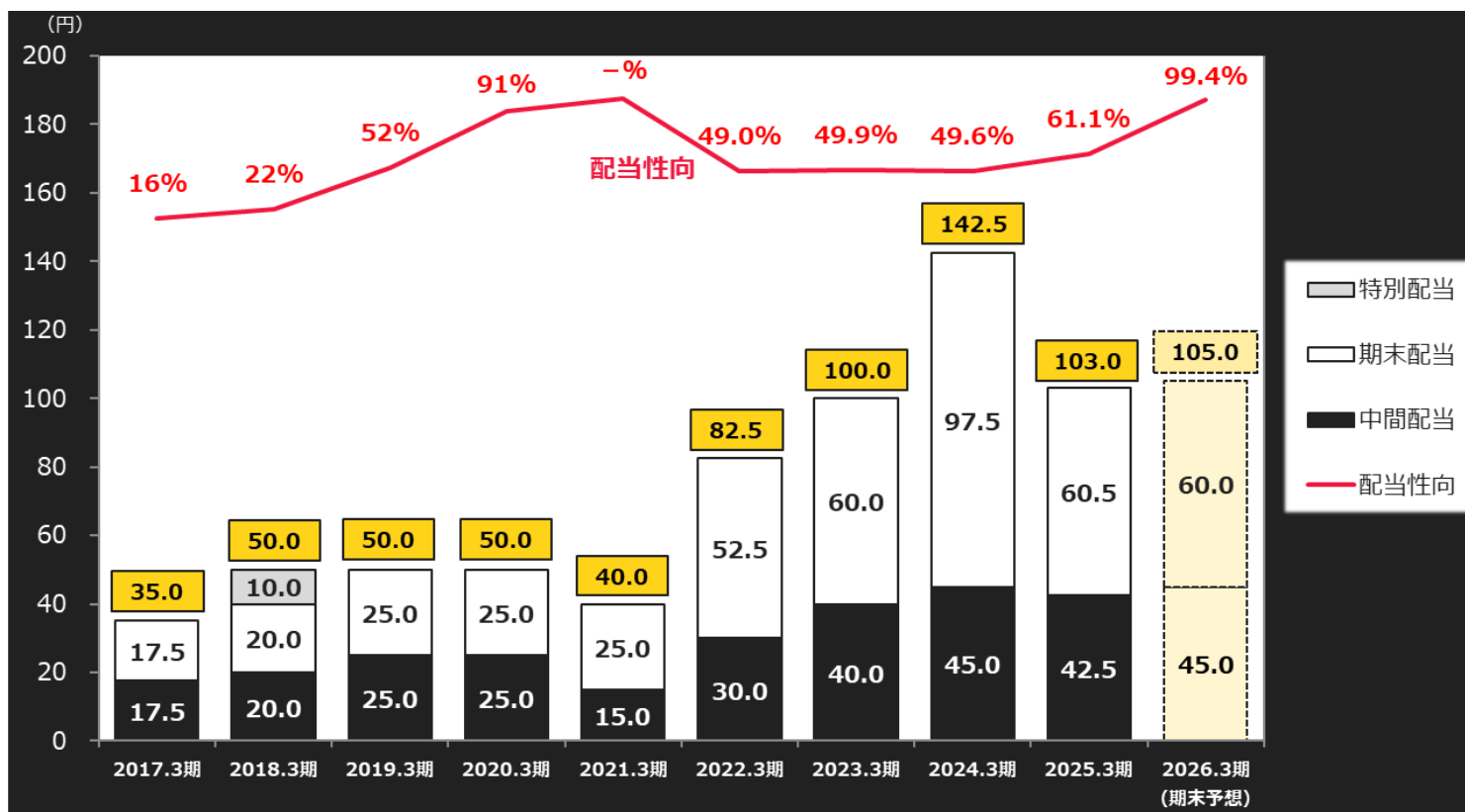
注) 2024年10月1日をもって1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純利益」を算定しております。

配当金の状況

- 2021年6月2日の『中期的な当社経営方針』発表以降、ROE 8 %を目標として、次の配当方針を掲げております。

ROE 3 %を下回る場合：配当性向100%の還元
 ROE 3 %～ 6 %の場合：DOE 3 %の還元
 ROE 6 %を超えた場合：配当性向50%の還元

- 2026年3月期の通期業績予想値のROEが3%の見通しの為、左記配当方針に従い、通期配当予想値をDOE3%とし、1株当たり配当金を105円に設定。



注) 2017年10月1日をもって10株を1株に株式併合を実施、併合前についても併合後に合わせて表示しております。
 2024年10月1日をもって1株につき2株の割合で株式分割を実施、分割前についても分割後に合わせて表示しております。

中期経営方針 KPI

2024年3月期は、上振れ要因により中期計画K P Iを達成できたものの、世界の建設機械市場全体が調整局面を迎える中、当期R O E実績は4.9%に低下。次期はこの事業環境に米国関税問題が加わり、現段階におけるR O E予想値は、3.0%となる見通しです。

今後引き続きR O E 8%を目指した収益構造改革を進め、P B R 1倍超えを目指して参ります。

	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期実績	2026.3期 通期予想	2026.3期 目標
売上高	33,020	27,854	30,000	30,000
営業利益	3,318	1,583	1,250	3,100
年換算ROE（自己資本当期純利益率）	9.0%	4.9%	3.0%	8.0%
自己株式取得	—	—	取得累積	
			340 ^{※1}	500 ~ 2,000 ^{※2}

※1 2025年5月14日現在で実行済みの累積金額です。

※2 2026.3期までの累積目標額です。

ESGに関する取り組み

効率的な締め* による施工現場のCO2排出量削減



岡山県の玉島笠岡道路改良工事への自律走行式ローラ（自動運転）の有償貸出を実施。岐阜県新丸山ダム工事案件に続く第2号有償貸出案件。

自律走行式ローラの道路建設工事での活用は全国初。

新技術によるカーボンニュートラルへの取り組みと付加価値提供の両立に注力します。

*有人作業と比較して約20%の作業省力化が可能となるという実験データあり。

インドネシアにおける道路建設への貢献と事業領域の拡大



当社の道路補修技術であるCAE工法（路上路盤再生工法）が、JICAのビジネス化実証事業を通じて、インドネシア公共事業省より正式にインドネシア国内での基準化工法としての承認を取得。

インドネシアの道路インフラの整備、道路舗装の品質向上・長寿命化へ貢献するとともに、同工法に使用される道路維持機械スタビライザ（インドネシアでの現地生産化完了）の拡販に注力します。

【本件に関するJICA紹介サイト】

https://www.jica.go.jp/overseas/indonesia/information/topics/2024/1555610_52847.html

政策保有株式縮減に向けた取り組み

2024年3月末時点において、政策保有株式残高の対連結純資産比率が20%超となっていました。同年6月に「政策保有株式に関する方針」の見直しを実施。政策保有株式残高を連結純資産の20%未満とする方針を明記するとともに、2024年度中に政策保有株式の一部売却を実施。2025年3月末においては、当該比率は18.7%となりました。

	2024年3月末	2025年3月末
政策保有株式残高 ^(注) (百万円)	5,993	5,625
連結純資産（百万円）	29,165	30,130
連結純資産に対する比率（%）	20.5%	18.7%

(注) 非上場株式を含む。

SAKAI

MASTERS OF COMPACTION

お問い合わせ

酒井重工業株式会社
I R 室

メー ル	sakai.ir@sakainet.co.jp
T E L	03-3434-3401
F A X	03-3436-6513

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。